



2025 年 8 月 8 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 岡 本 純 子
(東証グロース市場・コード 3807)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 岡 本 純 子
電 話 番 号 03 (5774) 2440 (代表)

過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出および
過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社は、本日付で過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を近畿財務局に提出するとともに、過年度の決算短信等についても訂正を行いますので、下記のとおりお知らせいたします。

株主、投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆さまには、ご迷惑とご心配をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 過年度決算訂正の理由および内容

当社は、2025 年 8 月 4 日付け「過年度の連結財務諸表等の訂正事項に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、外部機関からの指摘および UHY 東京監査法人との協議を踏まえ、以下の通り暗号資産に関する過年度の評価方法について訂正を行うことといたしました。

(1) 2022 年 12 月期第 2 四半期における暗号資産 (FSCC) の評価額訂正について

2022 年 6 月 29 日～30 日にかけて、元当社代表取締役 (当時は取締役) の中村孝也および元当社財務経理担当取締役の松崎祐之が取締役を兼務していた会社等を通じて、暗号資産フィスココイン (FSCC) の大口取引が行われ、価格が大幅に上昇しました。当時、当社は暗号資産取引所 Zaif での期末価格 (398 円) をもとに FSCC を評価していましたが、当該価格は当社関係者の取引による一時的な上昇であり、適切ではなかったと判断しました。このため、期末直前の市場価格 (169 円) を基準に再評価し、2022 年 12 月期第 2 四半期における有価証券報告書等の訂正を行います。
注) 中村孝也および松崎祐之は、2025 年 8 月 5 日付で当社および当社子会社の取締役を辞任しております。

(2) 評価減の時期に関する訂正について

当社は 2024 年 12 月期第 2 四半期に、活発な市場が存在しない暗号資産について備忘価格まで評価減を行っておりましたが、当社の会計監査人である UHY 東京監査法人が監査を担当していた株式会社クシム (証券コード: 2345) において、2025 年 4 月 28 日付で、暗号資産等の過年度評価に関する訂正報告書が公表されたことを受け、監査法人との協議を経て、当該暗号資産の評価減は 2023 年 12 月期に行うのが適切であると判断しました。このため、関連する有価証券報告書等の訂正を実施いたします。

2. 本日付で公表した訂正報告書および決算短信

有価証券報告書の訂正報告書

第 29 期（自 2022 年 1 月 1 日 至 2022 年 12 月 31 日）

第 30 期（自 2023 年 1 月 1 日 至 2023 年 12 月 31 日）

第 31 期（自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 12 月 31 日）

四半期報告書の訂正報告書

第 29 期 第 2 四半期（自 2022 年 4 月 1 日 至 2022 年 6 月 30 日）

第 29 期 第 3 四半期（自 2022 年 7 月 1 日 至 2022 年 9 月 30 日）

第 30 期 第 1 四半期（自 2023 年 1 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日）

第 30 期 第 2 四半期（自 2023 年 4 月 1 日 至 2023 年 6 月 30 日）

第 30 期 第 3 四半期（自 2023 年 7 月 1 日 至 2023 年 9 月 30 日）

第 31 期 第 1 四半期（自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日）

半期報告書の訂正報告書

第 31 期中（自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 6 月 30 日）

決算短信の訂正

2024 年 12 月期 第 3 四半期決算短信

2024 年 12 月期 決算短信

2025 年 12 月期 第 1 四半期決算短信

3. 訂正による過年度の連結業績への影響額

過年度の連結業績への影響額は以下のとおりです。

なお、本訂正は、FSCC の評価損に関する計上時期の修正であり、当該資産についてはすでに 2024 年 12 月期第 2 四半期決算において備忘価格まで評価を切り下げ済みであることから、今回の訂正は評価損の前倒し計上にすぎず、2025 年 12 月期に新たな損失が発生するものではありません。

（単位：百万円）

期間	項目	訂正前	訂正後	影響額	増減率
第 29 期 (2022 年 12 月期) 第 2 四半期	売上高	623	382	△241	△38.70%
	営業利益	126	△114	△241	—
	経常利益	156	△84	△241	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	154	△86	△241	—
	総資産	5,506	5,265	△241	△4.39%
	純資産	3,796	3,554	△241	△6.36%
第 29 期 (2022 年 12 月期) 第 3 四半期	売上高	915	674	△241	△26.33%
	営業利益	157	△83	△241	—
	経常利益	187	△54	△241	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	183	△57	△241	—
	総資産	4,467	4,226	△241	△5.40%
	純資産	2,778	2,537	△241	△8.68%

期間	項目	訂正前	訂正後	影響額	増減率
第 29 期 (2022 年 12 月期) 通期	売上高	1,071	924	△147	△13.73%
	営業利益	46	△100	△147	—
	経常利益	73	△73	△147	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△2,750	△2,897	△147	—
	総資産	3,826	3,679	△147	△3.84%
	純資産	2,063	1,916	△147	△7.13%
第 30 期 (2023 年 12 月期) 第 1 四半期	売上高	87	123	36	41.99%
	営業利益	△192	△155	36	—
	経常利益	△190	△153	36	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△184	△147	36	—
	総資産	2,997	2,887	△110	△3.69%
	純資産	1,121	1,011	△110	△9.85%
第 30 期 (2023 年 12 月期) 第 2 四半期	売上高	273	318	45	16.80%
	営業利益	△254	△208	45	—
	経常利益	△241	△195	45	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△236	△190	45	—
	総資産	3,024	2,923	△101	△3.35%
	純資産	1,193	1,092	△101	△8.48%
第 30 期 (2023 年 12 月期) 第 3 四半期	売上高	400	400	—	—
	営業利益	△399	△399	—	—
	経常利益	△313	△313	—	—
	四半期純利益	△302	△302	—	—
	総資産	2,690	2,690	—	—
	純資産	859	859	—	—
第 30 期 (2023 年 12 月期) 通期	売上高	450	213	△236	△52.52%
	営業利益	△622	△859	△236	—
	経常利益	△537	△774	△236	—
	当期純利益	△1,591	△1,827	△236	—
	総資産	2,093	1,856	△236	△11.31%
	純資産	289	53	△236	△81.66%
第 31 期 (2024 年 12 月期) 第 1 四半期	売上高	193	194	0	0.25%
	営業利益	△50	△48	1	—
	経常利益	△49	△48	1	—
	四半期純利益	△50	△49	1	—
	総資産	2,411	2,175	△235	△9.76%
	純資産	703	467	△235	△33.48%
第 31 期 (2024 年 12 月期) 第 2 四半期	売上高	393	394	0	0.13%
	営業利益	△323	△90	233	—
	経常利益	△322	△88	233	—
	中間純利益	△131	101	233	—
	総資産	1,948	1,944	△3	△0.19%
	純資産	401	398	△3	△0.83%

期間	項目	訂正前	訂正後	影響額	増減率
第 31 期 (2024 年 12 月期) 第 3 四半期	売上高	622	622	0	0.08%
	営業利益	△334	△101	233	—
	経常利益	△333	△99	233	—
	四半期純利益	△504	△270	233	—
	総資産	1,687	1,683	△3	△0.21%
	純資産	144	140	△3	△2.30%
第 31 期 (2024 年 12 月期) 通期	売上高	867	867	0	0.01%
	営業利益	△327	△94	233	—
	経常利益	△325	△92	233	—
	当期純利益	△530	△297	233	—
	総資産	1,784	1,781	△3	△0.18%
	純資産	240	236	△3	△1.55%

(注) 1. 第30期（2023年12月期）第3四半期より連結開示から単体開示へ変更しております。

2. 第31期（2024年12月期）から活発な市場が存在しない暗号資産の評価損の表示方法を「売上高」から「売上原価」へ変更しております。第29期（2022年12月期）、第30期（2023年12月期）については、当該表示方法の変更を反映する前の数値を記載しております。

3. 2025年12月期第1四半期（2025年1月1日～2025年3月31日）は、前年同四半期比較の記載について「2025年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の一部を訂正しておりますが、訂正の範囲には該当せず、業績へ影響はないため記載しておりません。

以 上